

<第4180回>

目的地：藤倉山（644m）（越前）

担当者：後藤重雄

実施日：2021年10月9日（土）

形式：日帰りハイキング

費用：4,260円（大阪駅—今庄駅往復・秋の関西1デイパス使用）

参加者：9名

鈴木絹子・島崎美奈子・柴崎美登里・富平一雄・高橋稔・原辺文子・福西加代子・中間弘江・後藤重雄

天気：晴

行程：

大阪駅（7:45）⇒（9:50）敦賀駅（9:53）⇒（10:07）今庄駅（10:24）→新羅神社（10:30）→（10:55）燧ヶ城址（11:05）→（11:45）関電鉄塔下（11:55）→（12:18）北電鉄塔下（12:28）→（12:50）藤倉山[昼食]（13:23）→白髭神社分岐（13:35）→光明聖寺跡（14:00）→（14:40）白髭神社（14:45）→（15:09）今庄駅[解散]（15:47）⇒（16:02）敦賀駅（16:23）⇒（18:27）大阪駅

感想：

- ・今庄駅をスタートし、北国街道の宿場町だった落ち着いた感じの街なみを過ぎ、カタクリの自生地のある新羅神社に参拝し、展望の良い燧ヶ城址で、最初の休憩をとりました。
- ・標高270mの先から鉄砲登りの急登が連続し、関電鉄塔下、北電鉄塔下と、展望の良い場所で、休憩しながら、「10月は、こんなに暑かった？」とぼやきながら、汗だくで登りました。
- ・標高602m辺りから、ぶなの木の多い、落ち葉を敷きつめた道となり、傾斜も緩やかな気持ちのよい道となり、新緑の頃の美しさがうかがえました。
- ・頂上を少し戻った、反射板の下の展望の良い場所で昼食を取り、昼食後、白髭神社分岐まで戻り、土留めがしてある階段状の道を長々と歩き、下りに飽きてきた頃、静かな趣のある白髭神社に着きました。神社より市街地になり、宿場町の街道沿いを歩き、やがてゴールの今庄駅に到着しました。
- ・楽しみにしていた駅付近の蕎麦屋は、14時には各店とも終了しており、残念ながら食できませんでした。やむを得ず電車待ちのあいだに、駅の売店で朝出発時に予約したビールを購入し、私たち以外誰もいない駅前の「ふれあい広場」のベンチで、静かに飲みながら、本日の山行をふりかえっていました。

特記：

- ・今庄駅は無人駅で、駅構内の今庄観光協会の売店（ビール・みやげ有り）の方が、業務を代行。敦賀駅での往路3分の乗り換えは、同じホーム。今庄駅周辺の蕎麦屋は、14時で終了。